



園長だより

NO.41 R7.12.8 (Mon)

先生達からの日々の保育を振り返って、反省を提出し、私がコメントを返し、保育の質の向上を図っています。

室内では、電車遊びが大
ブーム！ 最初、は
線路を繋ぐのを一緒にやっ
ていたのに、いつのまにか子ども達
だけで上手に繋げられるよう
になりました。線路の道は、
一直線だったし、急カーブしてい
たり、橋があったり...。毎回
必ず道が違っているのが、当
り前のようになり、前よりおは
いシに気が来ました。子ども達の
主体性や想像力が毎回
線路の道につまみ、いて
新鮮だと感じました。

あるクラスの担任からのコメントです。
子ども達って左記にもありますように、
遊びの天才なんです。例えば電車
の線路を繋ぐ事に関して、「こうしたらどう
だろう」「これを逆にしたら」「これは出来る
かな」。毎日、創意工夫の連続です。考えて
みれば、こうして日々培われていく力が、そ
れからの人生で必要では？と思ったんです。
なぜならば、今の教育は昔の様に座学の中で
先生の一方的な講話を座って聴くだけの
講話形式とは異なり、アクティブラーニングの
時代です。いわゆる生徒・子ども自身が、受け身

ではなく、グループワークなどにより、主体的に考え、能動的・積極的に
学習に参加し、課題解決に取り組み、教養・知識・経験を積み、
非認知能力を身に付けていく教育です。そして、以前、園長だよりでも
話題にさせて頂きましたが、非認知能力とは、数字で測ることが
出来ない力、順応力、コミュニケーション力など、基本的に社会を
生き抜いていく力です。

正にそんな能力が育っているな。遊びは学びだな。と、生き生きと
集中して遊んでいる子ども達を見て痛感します。

人格形成が成立する大切なこの幼児期、人として社会を生き抜いていく力を
育む土台をゆるぎなくつくっていく為に、思いきり遊んで！遊び込ませて！そして
私達は、その場に携わる者として、その場と喜びを共有し、あらゆる創造力
を引き出してあげるべく、子ども達の発想工夫を見出し、褒め認め
それがやがて自信になっていくよう邁進していきたいと、日々子ども達の
輝く笑顔を嬉し見守りつつ思います。

